


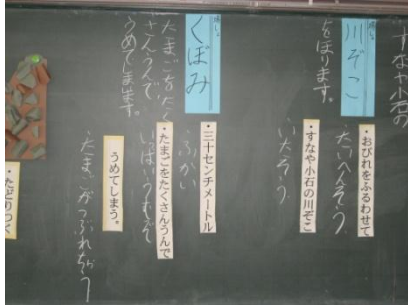
◎授業の様子 2年 「さけが大きくなるまで」

学習活動	学習内容	・指導と評価の創意工夫 ◎人権教育上の配慮 評価
1 前時の学習場面を海の音、川の音、滝の音の音源を聞きながら想起する。 2 学習課題をつかむ。	◇前時の学習を想起 ・さけが、河口から川上へと進んでいく様子を聞き取る。 ◇課題把握	・段落の内容を考えながら、音読をさせる。 課題① ・導入の際、鮭遡上の新聞記事を用いた方がより児童にとって身近な事例ととらえることができた。 ・課題解決に意欲をもたせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> さけはどうやってたまごをうむのかな。 </div> 3 学習課題を解決する。 (1) 第2段落後半を音読する。 ・一斉読み (2) 各自ワークシートに時、場所を書き込む。 (3) 空欄の言葉を確認する。	◇姿勢、口形、正しい発音 ◇ <u>時</u> と <u>場所</u> を表す言葉を書き込む。 ・ <u>やがて</u> ・水のきれいな <u>川上</u> ・ <u>川ぞこ</u> ・ <u>くぼみ</u> ◇教科書で <u>時</u> と <u>場所</u> を確認する。	課題② ・初発の感想、第1段落、第2段落前半部のワークシートを掲示し、単元としてのつながりを視覚的に意識させたい。 ◎ワークシートを手渡す時、「はい、どうぞありがとう」と言葉をかけ合わせる。 ・学習範囲の確認と本時の意欲付けのために、全員で音読させる。 ・語や文のまとまりを意識しながら読むようにさせる。 ・時、場所、様子がわかるところを探しながら、読むように助言する。 ・ <u>時</u> と <u>場所</u> を表す言葉がキーワードであることを確認する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  </div> 課題③ ・重要語句や、言葉に着目した発問を増やす。 ・事前に用意した、サケの絵を用いて視覚的に尾びれの位置を教えた方が良い ・背ビレや胸ビレの位置も教える必要がある。 (4) 本段落のさけの様子、場所	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ◎話し合いの約束 ・はっきり ・最後まで ・うなずきながら ・笑顔で優しく </div> ◇「川上にたどりついたさけ」	エの① さけの成長の様子を、時間的な順序や、場所、大きさなど、大事な言葉や文を落とさないで順序よくまとめている。 〈手立て〉 ・ここでは、Cの児童を中心に指導する。 ・手が付けられない児童を中心に支援する。教科書に線を引いて、そこから考えさせる。 ・発表の苦手な児童は隣の人と一緒に意見を言うように指導する。 ・「つく」と「たどりつく」

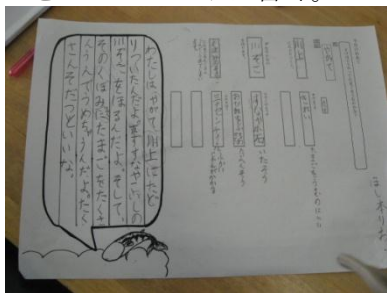
の様子を抜き出し、さけの気持ちを書く。

①各自ワークシートに書き込む。

②全体で話し合う。



③さけになったつもりで、卵を産むまでの様子を伝える文章をワークシートに書く。



「あなをほるさけ」
「たまごを、うめてしまうさけ」

の3つの場面で、さけの様子や大変さが分かる言葉を書き込み、その理由を書く。



◇文章を書くこと

・キーワードの確認
(時と場所を表す言葉)



の違いを考えさせる。

- ・自分自身の体を使って、砂や小石のある川底に穴を掘っていることに、着目させる。
- ・たくさんたまごをうむこと、そのたまごをうめてしまうことにも着目させる。

課題④

- ・様子を表す言葉に関しては、抜き出すのではなく、教科書に印をつけさせ、行間に感じた気持ちを書かせる方が良い。

オの①

主語と述語の関係に注意して、さけの成長過程について読み取ったことを発表したり、ワークシートにまとめたりしている。

(手だて)

- ・なかなか書けない児童には、穴埋め式シートを用意する。
- ・キーワードを落とさず書いているか、確認させる。
- ・賞賛し、見直しをさせ、発表を促す。

課題⑤

- ・作文する際、時、場所、様子を表す言葉を必ず用いるよう呼びかけるべきであった。

(期待したい表現)

やがて、水のきれいな川上にたどりつくと、おびれで(すなや小石の)川ぞこをほるよ。(ふかさが三十センチメートルぐらいになると、くぼみにたまごをうんでうめるんだ。

(5) 書いた文章を代表者が発表

◇さけの気持ちになって読む。

する。

4 本時のまとめをする

課題⑥

- ・話し合いを振り返る時間を
用意すべきであった。

5 次時の予告をする

◇本時のめあてを振り返る。

◇次時の学習について知る。

